

# 株式会社 **エー**

(東証プライム：6850)



2024年3月期

会社・決算説明資料

# 目次

➤ 1. チノーグループの概要	P 2
➤ 2. 事業の概要	P 8
➤ 3. チノーの強み	P15
➤ 4. ソリューション事例	P20
➤ 5. 決算概要	P31
➤ 6. 今後の取組み	P38
➤ 7. トピックス	P43
➤ 8. 株主還元等	P46
➤ Appendix	P53

# 》 1. チノーグループの概要

---

**CHINO**



# 会社概要

会社名	株式会社チノー CHINO CORPORATION
本社	東京都板橋区熊野町32-8
代表者	代表取締役 社長執行役員 豊田三喜男
事業内容	計測制御機器の製造・販売、計装工事
会社設立	1936年8月1日
株式	東京証券取引所 プライム市場
従業員数	連結：1,095名 単体：692名 (2024年3月末現在)
グループ会社	12社 (国内 6社、海外 6社)

# 当社の生産拠点・販売拠点・国内グループ会社

## 生産拠点 (3拠点)

藤岡事業所 久喜事業所 山形事業所

## 販売拠点 (3支店<16営業所>)

東日本支店 (8営業所・1出張所)  
大阪支店 (5営業所・1分室)  
名古屋支店 (3営業所)

## 国内グループ会社 (6社)

- ・ 株式会社チノーソフテックス
- ・ アーズ株式会社
- ・ 三基計装株式会社
- ・ アドバンス理工株式会社
- ・ 株式会社浅川レンズ製作所
- ・ 明陽電機株式会社

# 海外グループ会社（6社）

当社はグローバル展開を最重要課題の一つとして取り組んでいます。  
顧客密着で現地ニーズに基づく製品を開発・生産して販売する“地産地消”  
を推進しています。

海外拠点数

**6** 拠点  
(5か国)

千野測控設備（昆山）有限公司

韓国チノ一株式会社

CHINO Works America Inc.



CHINO Corporation India Private Limited

CHINO Corporation (Thailand)Limited

上海大華 - 千野儀表有限公司

# 沿革

1913

創業

(株)千野製作所  
設立

1936

東証市場第二部  
上場

1962

藤岡事業所  
竣工

1963

久喜事業所  
竣工

1978

東証市場第一部  
へ指定替え

1979

創立50周年を機に  
(株)チノーに  
社名変更

1986

本社・研究所  
新社屋竣工、移転

1990

(株)山形チノー  
(現 山形事業所)  
設立

1992

藤岡事業所に生物  
多様性保全をめざし  
ビオトープ開設

2011

創立80周年

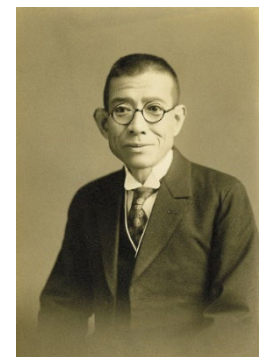
2016

明陽電機(株)の  
子会社化

2020

東証  
プライム市場  
へ移行

2022



創業者 千野一雄



千野製作所



チノー本社

## 企業理念

計測・制御・監視技術の限界に挑戦し、  
産業の発展とより良い明日の社会の実現に貢献する

## 創立90周年（2026年）に向けた経営ビジョン



### 共創

環境の変化を捉えながらステークホルダーと共に新しい価値を創造します

### 特長

卓越した技術によるループソリューションでお客様に感動をお届けします

### 信頼

信頼の“絆”を強め 情熱とチームワークで未来に向かって成長し続けます



## ➤ 2. 事業の概要

---

**CHINO**



# 当社グループの事業セグメント

事業セグメント		主な製品
<b>計測制御機器</b>	プラントや工場などの様々な製造現場の基盤を支える記録・制御に必要な記録計、調節計、電力調整器を提供	<ul style="list-style-type: none"><li>・記録計</li><li>・調節計</li><li>・電力調整器</li><li>・ロガー</li></ul>
<b>計装システム</b>	計測・制御・監視技術を活かし、お客様の目的に合わせた計器をコーディネートする計装システムを提供 各種評価試験装置やパッケージソフトを提供	<ul style="list-style-type: none"><li>・評価試験</li><li>・性能耐久試験</li><li>・集録監視パッケージシステム</li></ul>
<b>センサ</b>	接触型温度センサ、赤外線技術を応用した放射温度計、熱画像計測装置および湿度センサや成分計を提供	<ul style="list-style-type: none"><li>・温度</li><li>・湿度</li><li>・成分水分厚さ計測</li><li>・温度校正</li></ul>
<b>その他</b>	修理、サービスを提供	

# <計測制御機器>

## 主な製品

記録計

調節計

電力調整器  
(サイリスタレギュレータ)

ロガー

記録計



温度を記録する

調節計



温度を制御する

電力調整器  
(サイリスタレギュレータ)



電力を調整する

無線ロガー



温度を計測・管理する

# <計装システム>

## 主な製品

評価試験

性能・耐久試験

集録・監視パッケージシステム

### 燃料電池 評価試験装置



燃料電池自動車等  
が効率よく電気を  
起こしているかを  
評価する装置

### 水電解評価装置



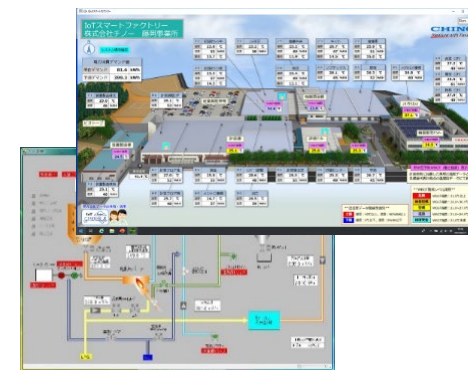
水を水素と酸素に  
電気分解して、  
効率よく水素を取り  
出せるかを評価  
する装置

### コンプレッサ 性能試験装置



エアコン<自動車・  
家電>のコンプレッサ  
性能・耐久試験装置

### 集録・監視パッケージ システム (CISAS/V4)



各種装置・設備など  
のデータをパソコン  
で集録・監視を行う  
システム

# <センサ>

## 主な製品 >>

温度

湿度

成分・水分・厚さ計測

温度校正

高温用シース  
熱電対



放射温度計



熱画像計測装置



赤外線多成分計



温度校正装置



接触形温度センサ

赤外線技術を応用  
した**非接触形**温度  
センサ

赤外線技術による  
計測器<水分・  
フィルム厚さ・  
塗工厚さ>

温度センサの温度  
誤差を点検する装置

# セグメント別売上高

その他

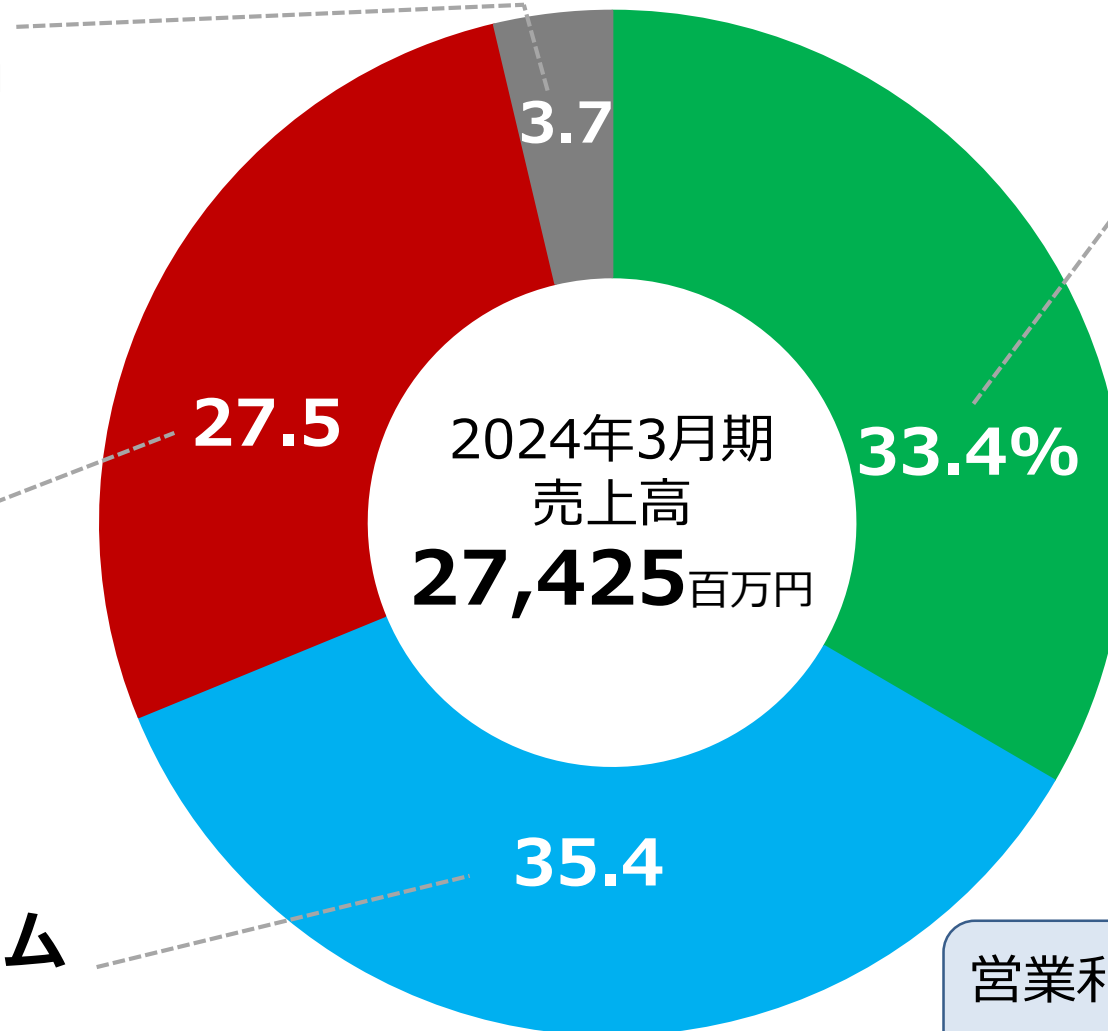
1,006百万円

センサ

7,549百万円

計装システム

9,699百万円



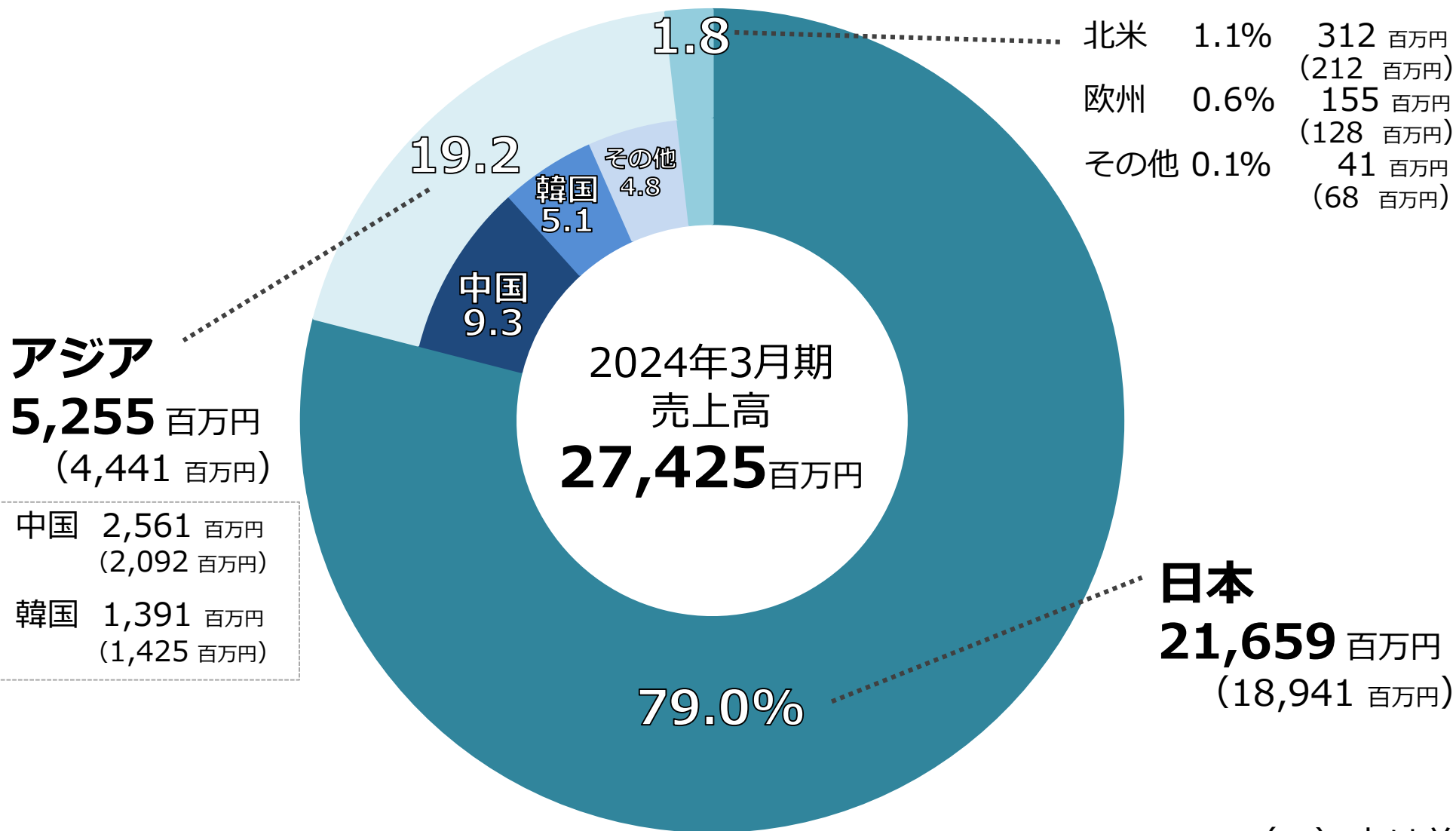
計測制御機器

9,169百万円

営業利益 : 2,173百万円

営業利益率: 7.9%

# 地域別売上高



( ) 内は前期

## 》 3. チノーの強み

---

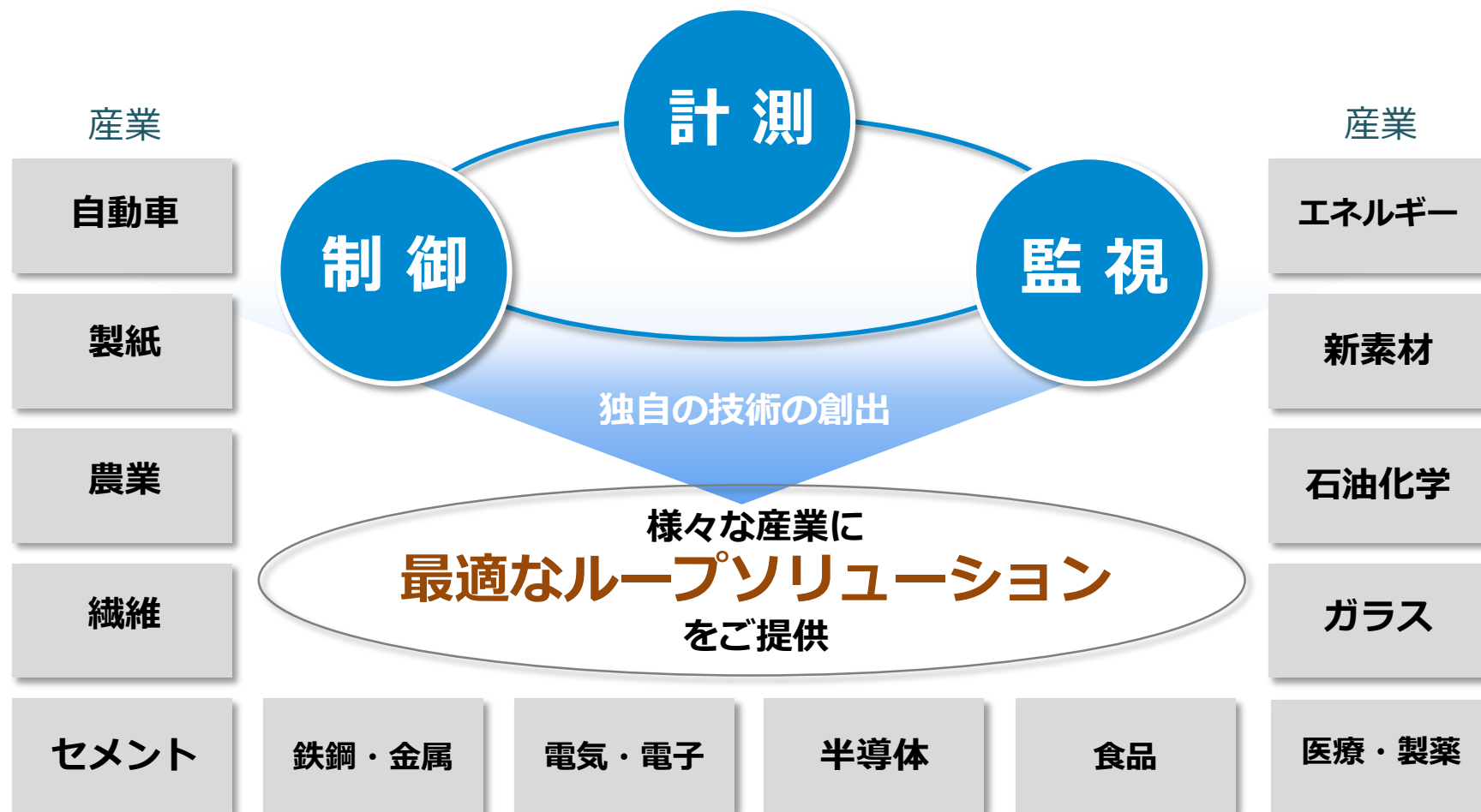
**CHINO**





# 事業の特長 ループソリューションによる顧客価値の創造

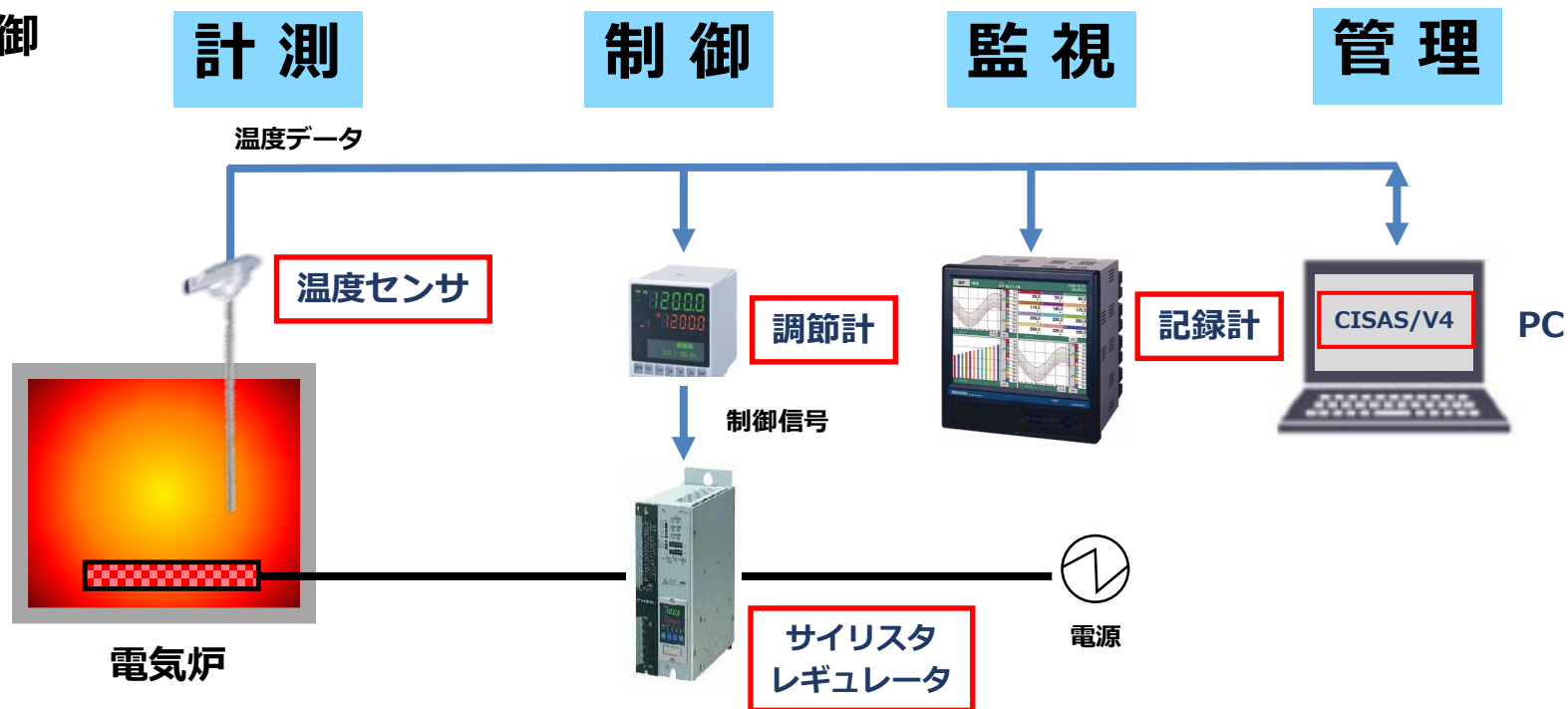
「温度のチノー」として、温度を軸として長年培ってきた  
①計測の技術 ②制御の技術 ③監視の技術



# ループソリューションとは

お客様の様々なニーズに合わせて、計測・制御・監視の製品を組み合わせた**温度ループソリューション**を**ワンストップ**で提供しています。  
これは**他社にはない当社の特長**になります。

## 電気炉の温度制御



: 当社製品

# 校正事業、標準温度センサ（世界29か国で採用）

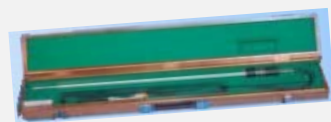
お客様のセンサや自社生産したセンサの温度の誤差を把握する（校正）事業を行っており当社は国に認められたJCSS（計量法事業者登録制度）の登録事業者として、国際的なトレーサビリティの証明となる証明書を発行することができます。  
また当社は世界の国家計量機関（世界29か国）に標準温度センサを提供しています。



株式会社チノ標準技術部は、認定基準として ISO/IEC17025 を用い、認定スキームを ISO/IEC17011 に従って運営されている JCSS（計量法校正事業者登録制度）の下で認定されています。JCSS の認定機関である IAJapan は、アジア太平洋認定協力機構（APAC）及び国際試験所認定協力機構（ILAC）の相互承認に署名しています。0024は当社標準技術部の登録番号です。

## 標準温度センサ

（「温度誤差把握の基準」となる温度センサ）



標準白金測温抵抗体／熱電対



標準用放射温度計

## 温度ループソリューション

お客様のニーズに最適な  
温度ループソリューション  
(計測・制御・監視の一元管理)  
をワンストップ提供

## 世界29か国で 標準温度センサ として採用

世界の国家計量機関に標準温度センサを  
提供し、**温度標準分野で大きな評価**

## 脱炭素社会 実現に貢献

「燃料電池（水素を使う）」  
「水電解（水素を作る）」の  
研究開発用の試験装置を提供し、  
社会のサステナビリティに貢献

## 極低温から超高温 までの温度測定

-269℃から3,500℃

までの温度を計測

※放射温度計のトップメーカー

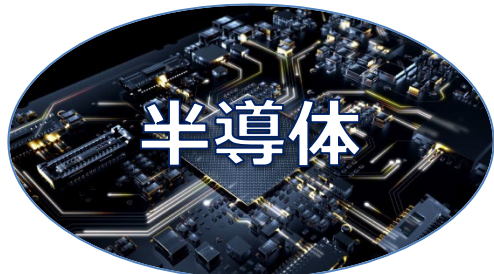
## ➤ 4. ソリューション事例

---

**CHINO**



# 産業別ソリューション



## 半導体

製造プロセスにおける高温・高速の温度計測・制御



## 医薬

医薬品保管庫の温度計測・監視



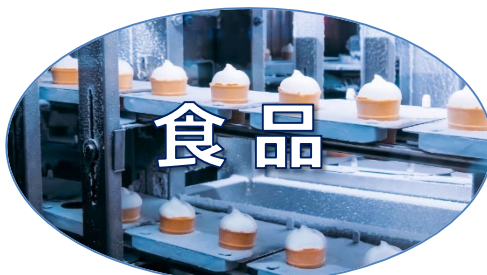
## エネルギー

太陽電池製造プロセスの温度管理、燃料電池性能評価装置の提供



## 鉄鋼

赤外線を利用した温度計測・監視



## 食品

各プロセス（製造～流通）の温度計測・記録



## 新素材

新素材（航空機等）の加工における温度計測・制御



## 自動車

部品製造工程の温度管理、コンプレッサ性能評価装置の提供



## アグリビジネス (農業)

園芸施設の温湿度の計測・可視化

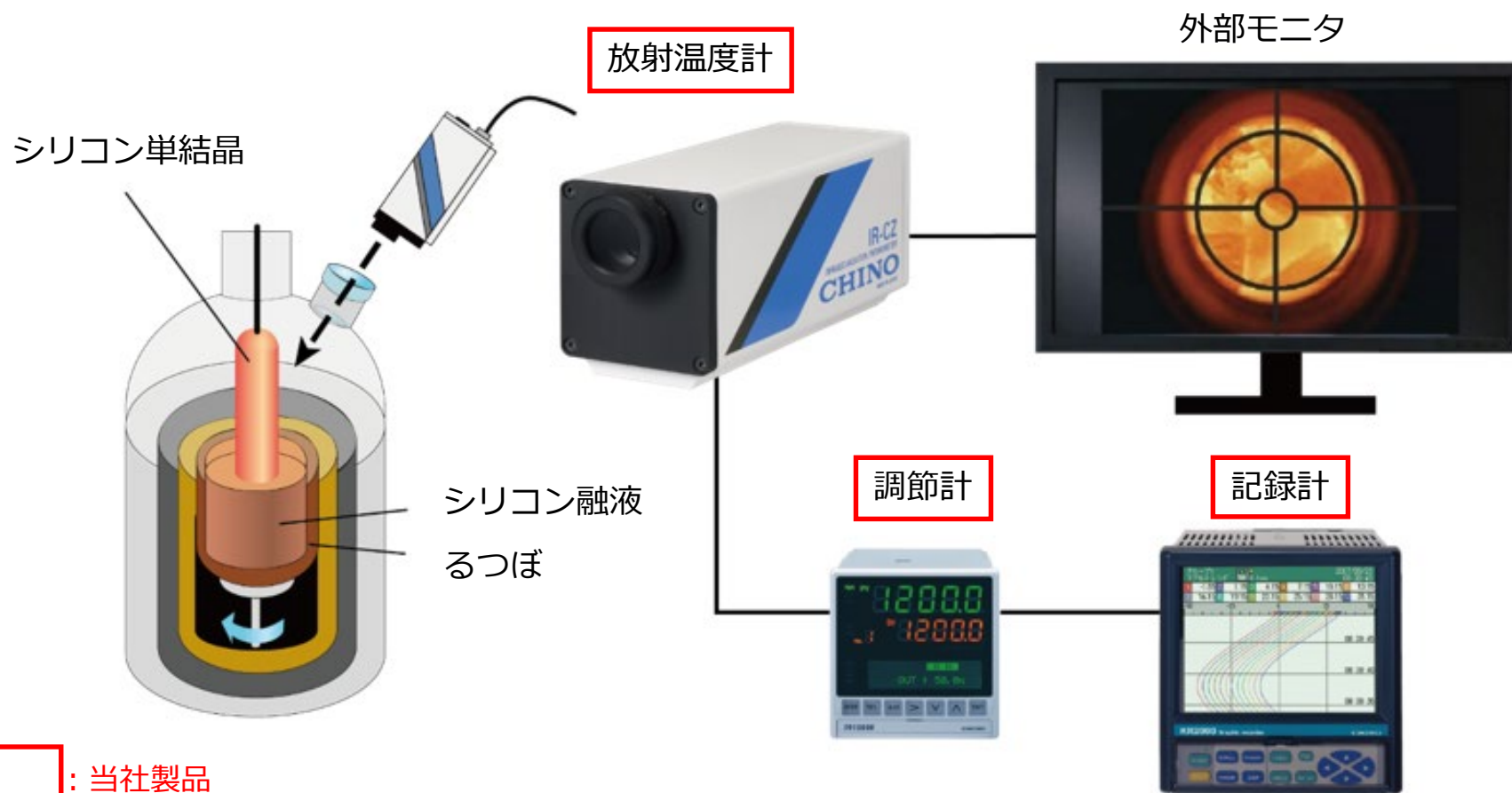


## ガラス

製造ラインにおける温度計測

# 半導体関連（製造プロセスの温度管理）

厳密な温度制御を要する半導体製造プロセス（シリコン単結晶引上げ時の温度計測）において**当社の「計測・制御・監視」技術**が貢献しています。

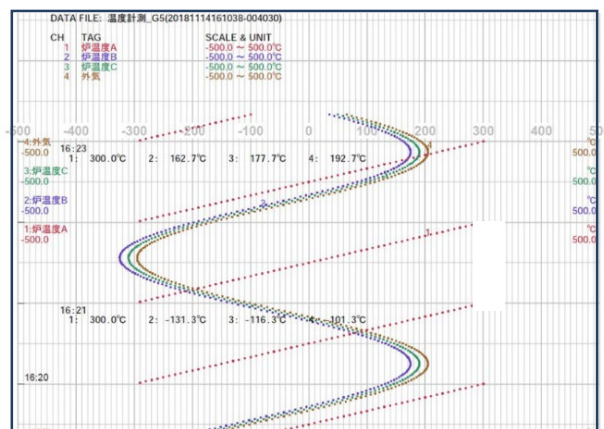


# 航空機・自動車関連（金属熱処理温度管理）

航空機部品や自動車部品の熱処理工程（金属を高温で加工する工程）においては、**高度な規格への対応**が要求されており、当社はその対応を支援しています。



記録計



## AMS2750

航空宇宙産業における特殊工程（溶接・熱処理など）の規格。

## IATF 16949/CQI-9

自動車部品メーカーに対する熱処理工程評価の規格。



 : 当社製品

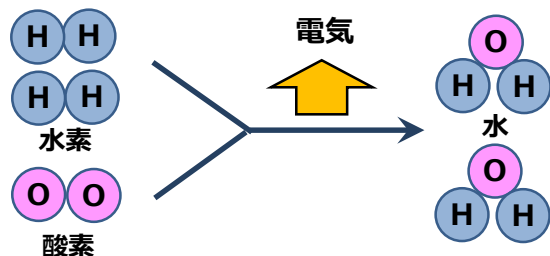


# 水素関連①（水素を「使う」）

水素を「使う」システムの評価装置を提供しています。

- ・ 燃料電池自動車等が効率よく電気を起こしているかを評価する装置
- ・ 1995年から顧客の研究開発用に販売し、**30年近いノウハウの蓄積がある**  
**（業界標準の地位を確保）**

水素を「使う」：燃料電池



燃料電池評価試験装置

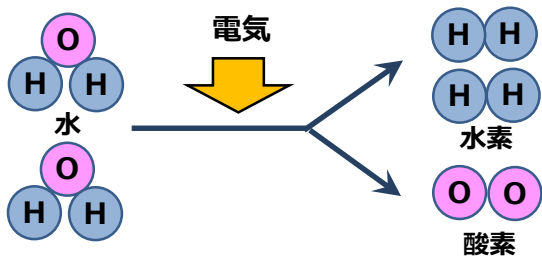
 : 当社製品

## 水素関連②（水素を「作る」）

水素を「作る」システムの評価装置を提供しています。

水を水素と酸素に電気分解して、  
効率よく水素を取り出せるかを  
評価する装置

水素を「作る」：水の電気分解

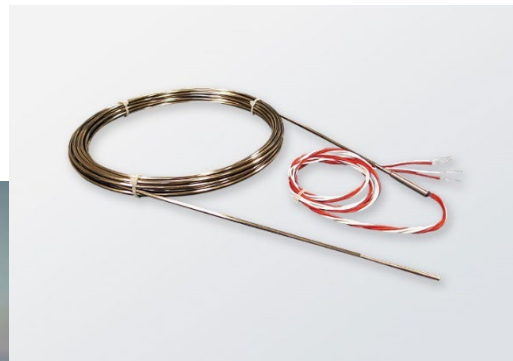


水電解評価装置

 : 当社製品

# 水素関連③（水素を「運ぶ」）

水素の輸送にはマイナス253℃以下で液化した状態を保つことが必要で、当社グループ（明陽電機(株)）のセンサ技術が液体水素の正確な温度管理に貢献しています。



## 液体水素用測温抵抗体

### 概要

- ・液体水素輸送船向け超低温温度センサー
- ・長時間大きな揺れが続く海上でも、-253℃の温度を正確に計測
- ・海外から水素を日本に運搬する船に搭載

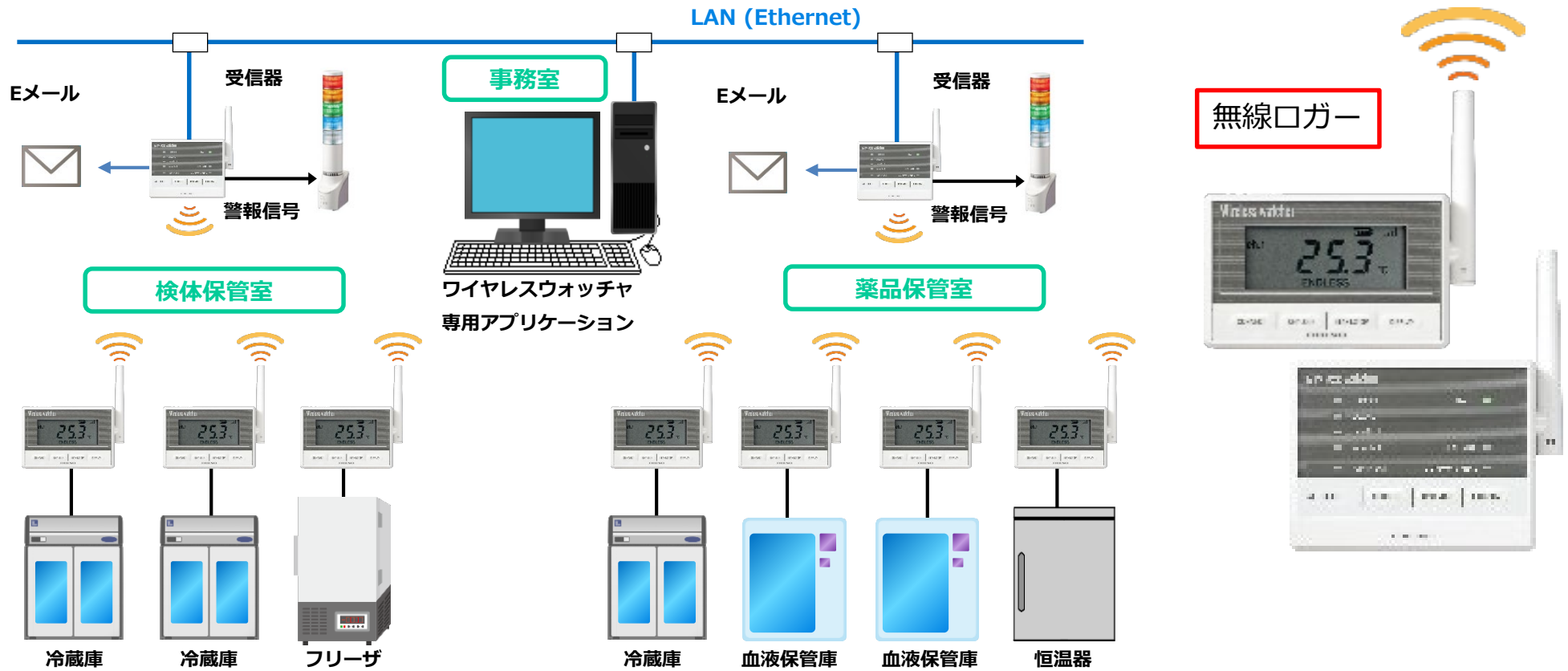
### 特長

- ・LH2タンク内の液体水素（-253℃）に直接接触して温度測定可能
- ・貼り付けタイプ製品（固定しにくい場所に使用）

: 明陽電機(株)製品

# 医薬品関連（血液保管庫の温度監視）

血液センター内の広範囲に点在する血液保管庫等の温度監視、データ保管を行い、**血液／血液製剤の安全保管**に貢献しています。



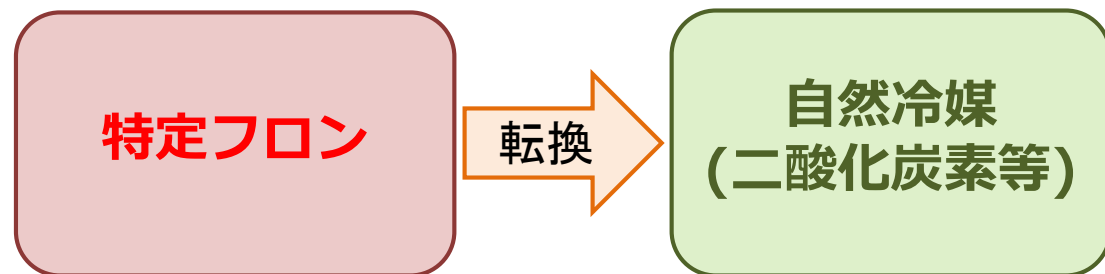
: 当社製品

# 環境関連（エアコンの自然冷媒対応）

環境負荷（地球温暖化への影響）が少ない自然冷媒（二酸化炭素等）に対応した**空調用コンプレッサ性能試験装置**を提供しています。

## <冷媒（※）の方向性>

※熱を移動させるために用いられる物質



オゾン層破壊効果：**有**  
温室効果：**大**

オゾン層破壊効果：**無**  
温室効果：**小**



コンプレッサ性能試験装置

: 当社製品

# 熱中症関連（熱中症の予防監視）

暑さ指数WBGT監視システムでは、測定した「気温・相対湿度・黒球温度」よりWBGT基準値（※）を算出して、**熱中症の予防監視**を行うことができます。

※WBGT基準値：暑熱環境による熱ストレスの評価を行う暑さ指数



# その他のソリューション事例

ソリューション事例は当社のホームページに掲載されています。

※URL : <https://www.chino.co.jp/>



## SOLUTION ソリューション

半導体

電子部品

熱処理・鉄鋼

自動車

航空機

脱炭素・エネルギー

化学

医薬

食品

IoT

その他



DECARBONIZATION/ ENERGY

### 脱炭素・エネルギー

詳しく見る

#### 脱炭素・エネルギー

脱炭素・エネルギーソリューションは、炭素排出を削減または排除しながらエネルギーを供給するための取り組みや技術を指します。再生可能エネルギー、エネルギー効率の向上、炭素捕捉と貯留、バイオエネルギーなど持続的でカーボンニュートラルな社会の実現の発展に貢献する事例をご紹介します。

#### プロセス・使用例

##### ▶ 脱炭素

リチウムイオン電池 電極スラリー	カーボンニュートラル社会に貢献 電解による鉄リサイクル需要に 対応
接着剤塗布量計 IRMT03	脱炭素社会実現に貢献！バイオマ スヤード・バイオマス発電施設 発 熱・発火監視
SOEC/SOFC評価用セラミックホル ダ	SOEC・SOFC評価試験装置
水電解評価試験	改質器対応SOFC評価試験装置

## ➤ 5. 決算概要

---

**CHINO**





# 決算ハイライト

2024年3月期 連結業績

売上高、各利益いずれも過去最高額を達成

受注高

27,458百万円 前期比 1.3 %減 

売上高

27,425百万円 前期比 15.3 %増 

- 受注高は、脱炭素関連（燃料電池評価試験装置や水電解評価装置）の需要が継続するも、第1四半期の減少の影響を受け年間では前期比では減少  
※第3四半期以降は、前年同期比プラスを確保
- 売上高は、当社顧客の設備投資が堅調に推移するとともに、部材供給不足が一部を除いて解消したこと等により増収

営業利益

2,173百万円 前期比 7.7 %増 

経常利益

2,413百万円 前期比 5.2 %増 

当期純利益 (親会社株主に帰属)

1,756百万円 前期比 14.3 %増 

- 利益は、部材価格高騰・新規開発案件の原価率への影響はあったものの、増収効果に加え、販売価格の見直し・政策保有株式の売却等により各項目とも増益

### 損益状況

#### 売上高

9,169百万円 前期比 6.4%増



#### セグメント利益

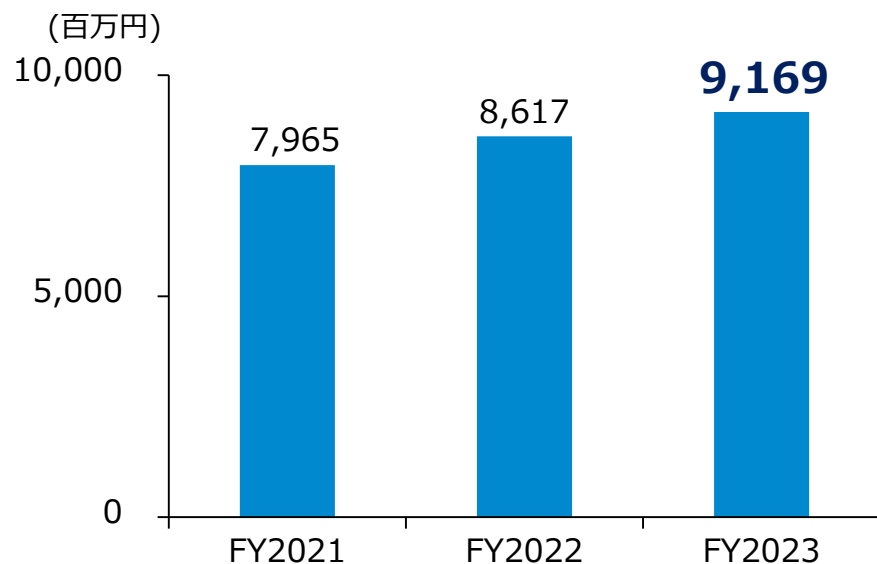
1,173百万円 前期比 4.3%減



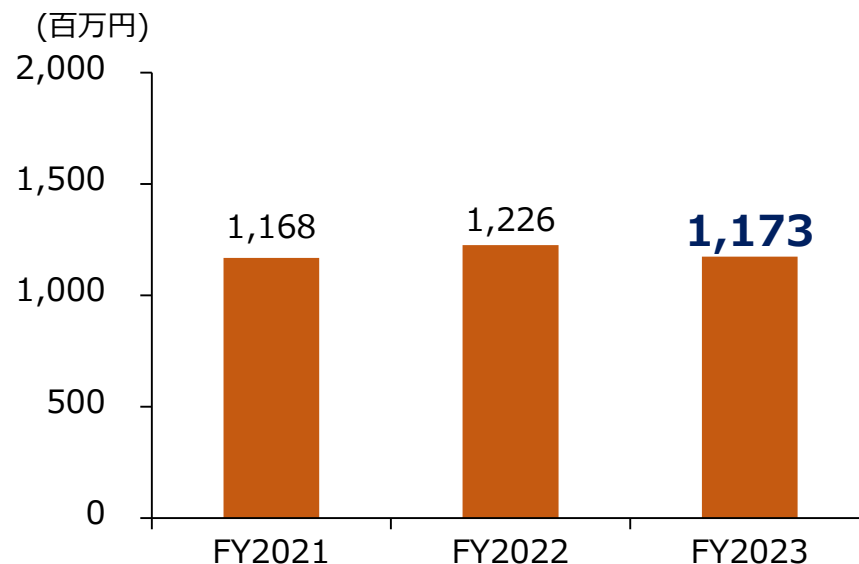
### 製品別状況

- 半導体・電子部品の製造設備や熱処理装置向けを中心に需要は堅調
- 海外市場は年度後半より新規受注が停滞
- 利益は、部材価格の高騰等により前期比で減益

#### <売上高>



#### <セグメント利益>



### 損益状況

#### 売上高

9,699百万円 前期比 36.0%増



#### セグメント利益

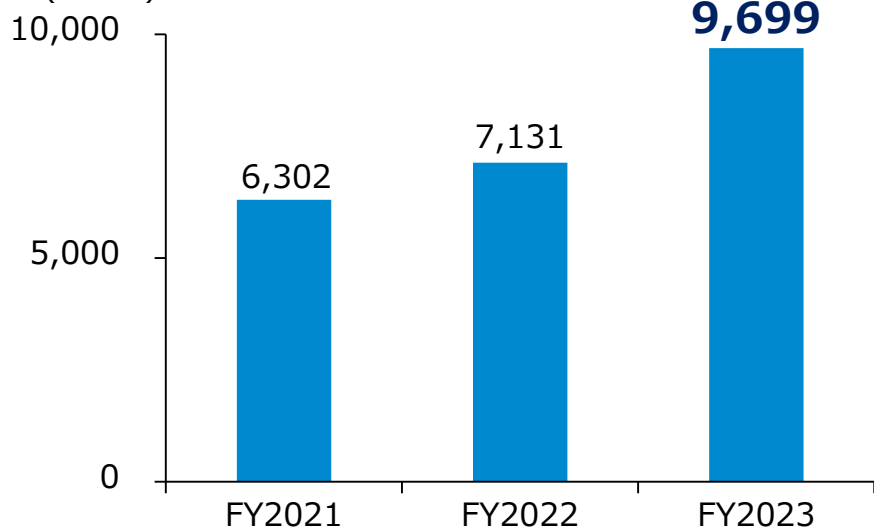
1,268百万円 前期比 24.9%増



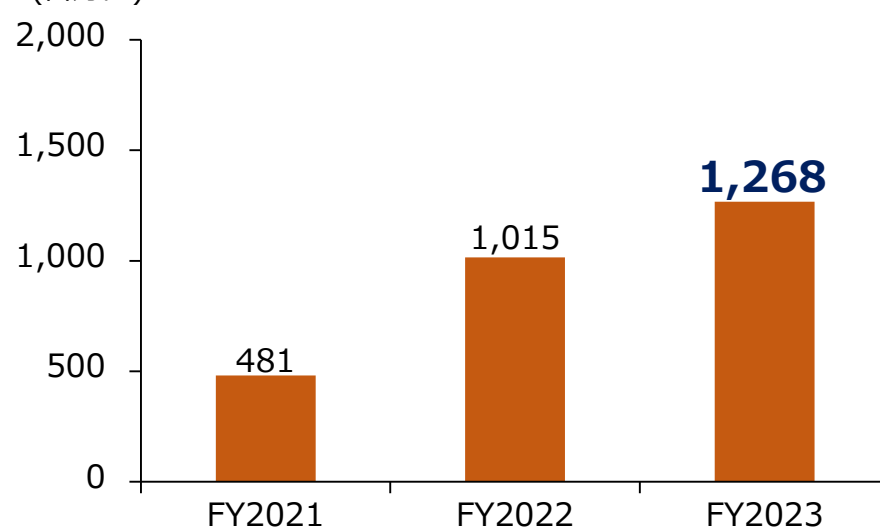
### 製品別状況

- 脱炭素関連として、自動車向けの燃料電池評価試験装置や、水素エネルギー利用の研究・開発用途の水電解評価装置の需要が継続
- 空調用コンプレッサ評価試験装置は、自然冷媒対応機器の需要が増加
- 利益は、新規開発案件の利益率下振れの影響があったものの、主に増収効果により前期比で増益

<売上高>  
(百万円)



<セグメント利益>  
(百万円)



### 損益状況

#### 売上高



7,549百万円 前期比 6.0%増



#### セグメント利益



1,398百万円 前期比 7.2%増



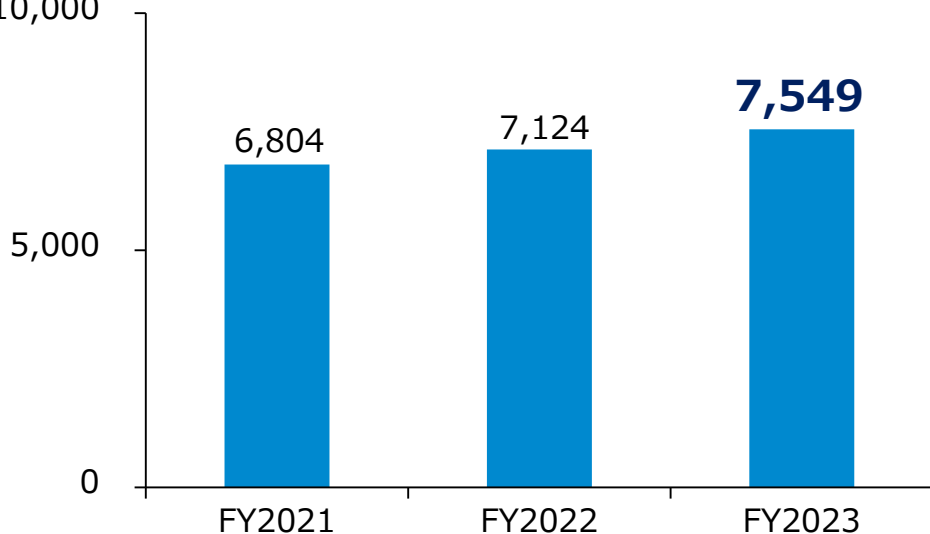
### 製品別状況

- 放射温度計、温度センサともに半導体関連の製造装置向けを中心に需要が好調
- AMS規格対応の温度センサの需要が堅調  
※AMS規格：航空宇宙産業における特殊工程の規格
- 利益は、増収効果等により前期比で増益

<売上高>

(百万円)

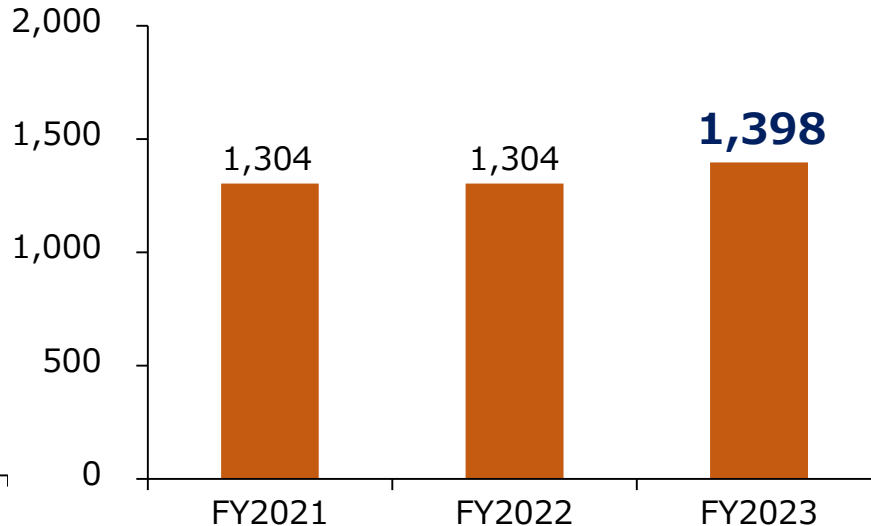
10,000



<セグメント利益>

(百万円)

2,000



# 中期経営計画 の進捗状況（3年目）

## 中期経営計画の進捗状況

単位：百万円

項目	中期経営計画NX26					
	Phase1					2026年度 KGI
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
実績	実績	実績	実績	前期比(差)		
売上高	21,080	21,908	23,793	<b>27,425</b>	15.3%	30,000
営業利益	1,136	1,499	2,018	<b>2,173</b>	7.7%	2,700
営業利益率(%)	5.4	6.8	8.5	<b>7.9</b>	▲0.6 P	9.0
海外売上高	3,518	4,077	4,852	<b>5,765</b>	18.8%	7,000
ROE(%)	8.1	6.1	8.5	<b>9.0</b>	0.5 P	10.0
ROA(%) <営業利益>	4.0	4.8	6.0	<b>6.0</b>	—	8.0

# FY2024の業績予想

地政学的リスクの高まり、中国経済の減速懸念、不安定な為替相場等、先行きの不透明感は増しているものの、主要顧客（自動車・電子部品分野等）および脱炭素社会に向けた水素関連分野での需要拡大が見込まれ、FY2024の業績予想は前期比増収増益（営業利益・経常利益）としています。

(百万円)

項目	FY2024 業績予想 (2024年5月13日発表)	FY2023 実績	増減額	増減率 (%)
売上高	28,500	27,425	1,075	3.9
営業利益	2,450	2,173	277	12.7
経常利益	2,650	2,413	237	9.8
当期純利益 (親会社株主に帰属)	1,610	1,756	▲146	▲8.3

## ➤ 6. 今後の取組み

---

**CHINO**



# 2024年度の設備投資（大企業）の状況

- 日銀短観（2024年6月調査 2024年7月1日発表）によると、2024年度の設備投資（大企業・全産業ベース）は前年比11.1%（製造業18.4%、非製造業7.0%）と前年比増加の計画。
- 企業の投資意欲は底堅く、DX・GX関連投資、人手不足対応の省力化投資やコロナ禍で先送りされていた老朽設備の維持・更新投資が着実に進んでいく見込み。

## 【2024年度設備投資計画】

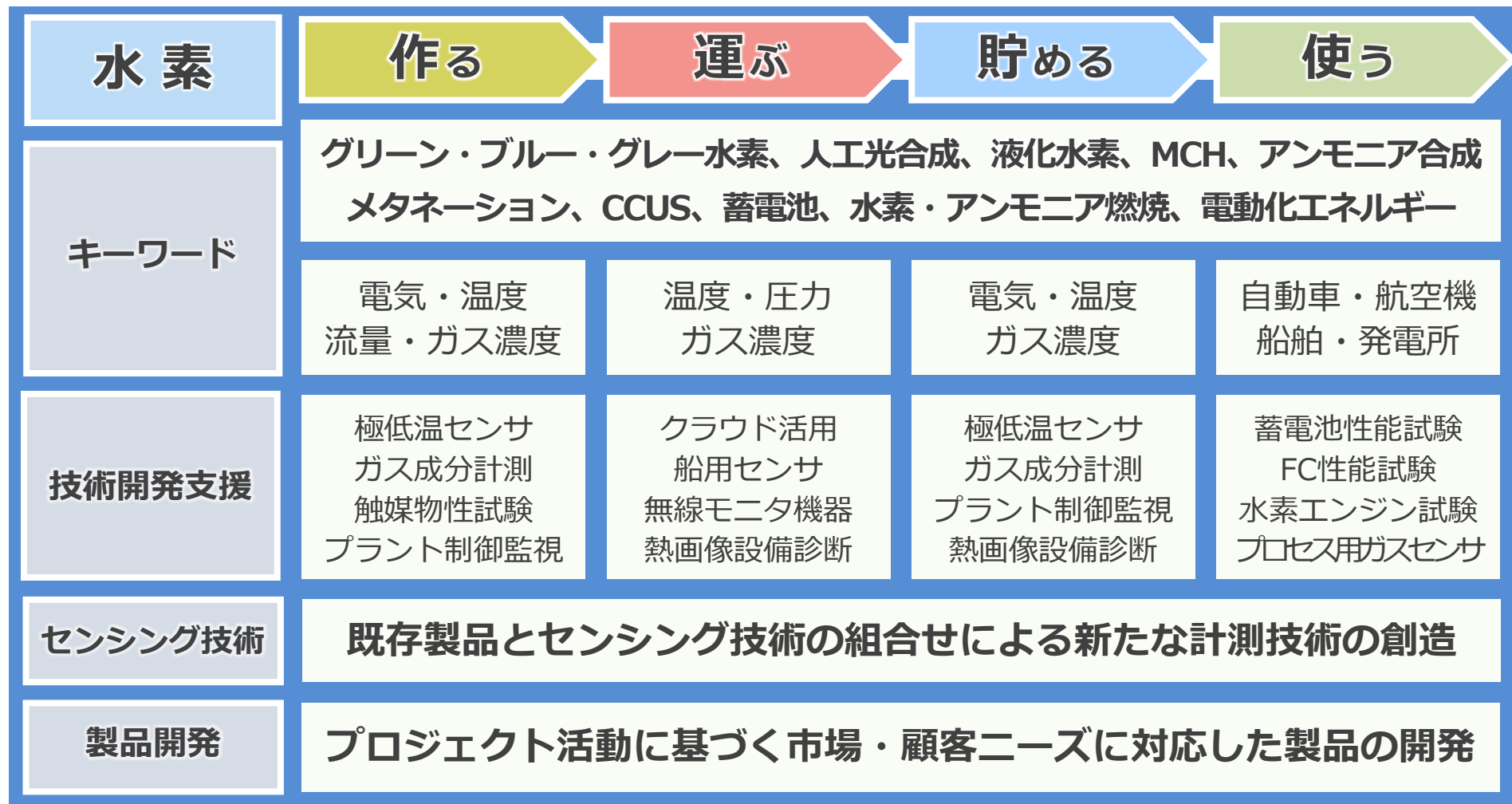
		前年比（%）
大企業	製造業	18.4
	非製造業	7.0
	全産業	11.1

（出所）日本銀行統計



# 水素社会に向けた事業活動

水素社会（カーボンニュートラル2050）に向けて事業活動を行う。



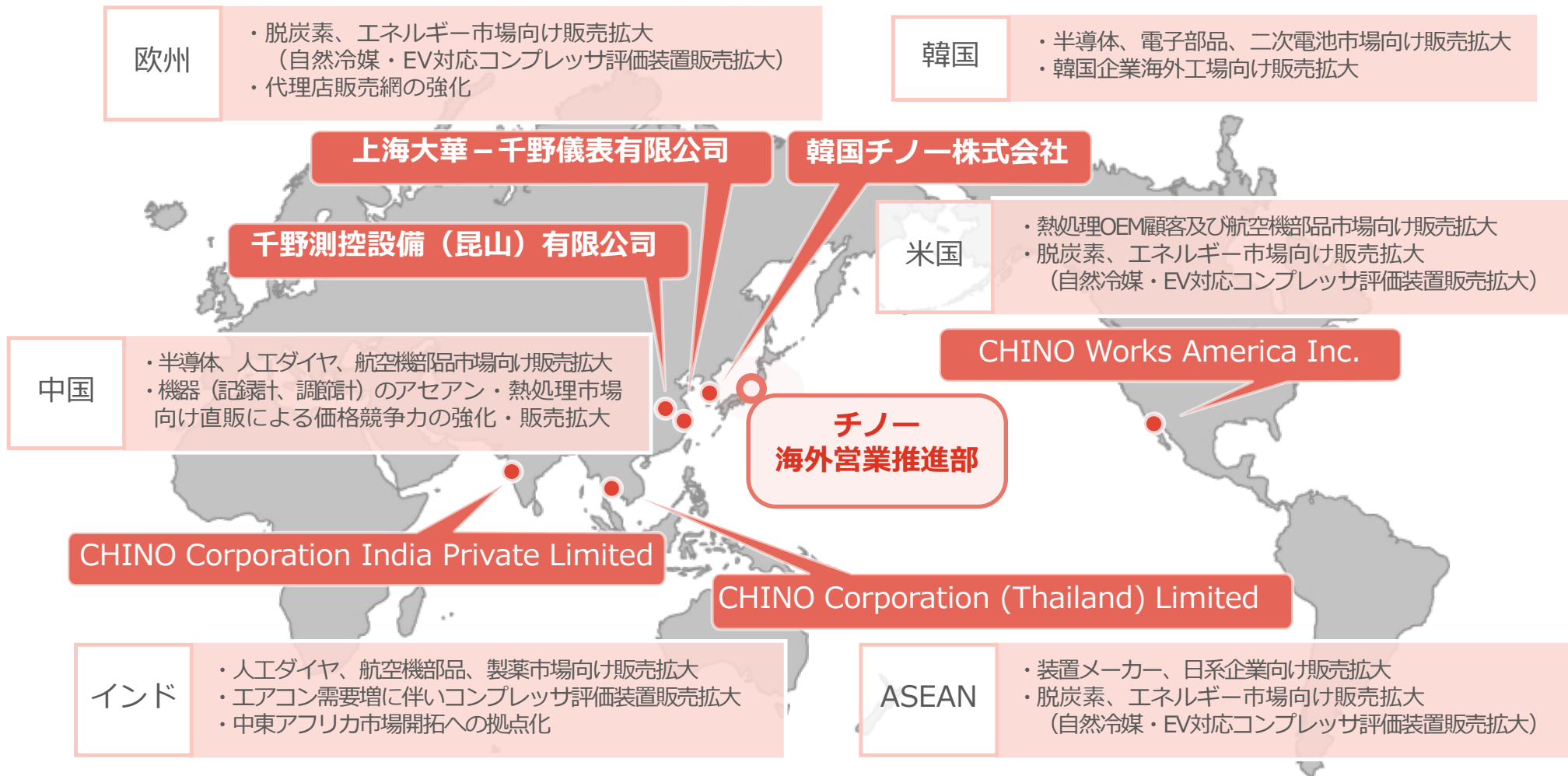
# 成長市場拡大にむけて

新たな成長分野・市場に向けて**特長あるソリューション**の開発と提供を進めることで競争優位性を発揮し、事業の拡大と社会課題の解決を実現する。



# 海外戦略（2026年度海外売上70億円に向けて）

複数国市場の限定マーケットニーズに合致したグローバル専用製品で販売拡大  
中国生産機器のアセアン・熱処理市場向け直販による価格競争力の強化・販売拡大



## ➤ 7. トピックス

---

**CHINO**



# プライム市場の適合状況等（2024年3月末）

## 【プライム市場の上場維持基準の適合状況】

プライム市場の上場基準の内、2項目（流通株式時価総額、1日平均売買代金）が2021年6月末時点で未達でしたが、2023年3月末に引き続き**2024年3月末においても基準をクリア**しています。

項目	プライム市場基準	当社の実績		適合状況 (2024年3月末)
		2023年3月末	2024年3月末	
流通株式時価総額	100億円	124.9億円	<b>156.3億円</b>	○
1日平均売買代金 (※)	20,000千円	44,672千円	<b>48,651千円</b>	○

※ 「1日平均売買代金」

2023年3月末：2022年1月～12月の平均売買代金

2024年3月末：2023年1月～12月の平均売買代金

# 健康優良企業「金」の認定

- 当社は健康企業宣言を行い、健康経営の取組み項目の目標を定め、2022年12月に従業員の健康づくりに積極的に取り組む企業として健康企業宣言東京推進協議会より「金」の認定(期間：2023年1月～12月)を受けました。
- 2023年12月においても引き続き「金」の認定(期間：2024年1月～12月)を受けました。

## <健康経営の取組み>

- ・ 従業員の健康管理に関する取組み
- ・ 職場環境の改善
- ・ 健康増進活動の実施
- ・ 健康経営に関する啓発活動の継続



今後も健康経営の取組みを通じて、従業員一人ひとりが活力に満ち溢れて能力を発揮し、充実した生活を送れる環境を構築して、個人の幸福、会社の発展、社会への貢献を進めてまいります。

## 》 8. 株主還元等

---

**CHINO**

- 1) 株主還元
- 2) 株主優待制度
- 3) 株価推移（過去10年間）




## 2023年度までの配当方針

- ・ 配当性向(連結)30%を目安に安定的かつ継続的に配当

## 2024年度からの配当方針

- 〔 中期経営計画の後半3年間  
（2024年度～2026年度） 〕
- ・ 2026年度の**配当性向(連結)を40%まで引き上げていくこと**を目指し持続的な利益成長を通じ増配を実現

## 中期経営計画NX26

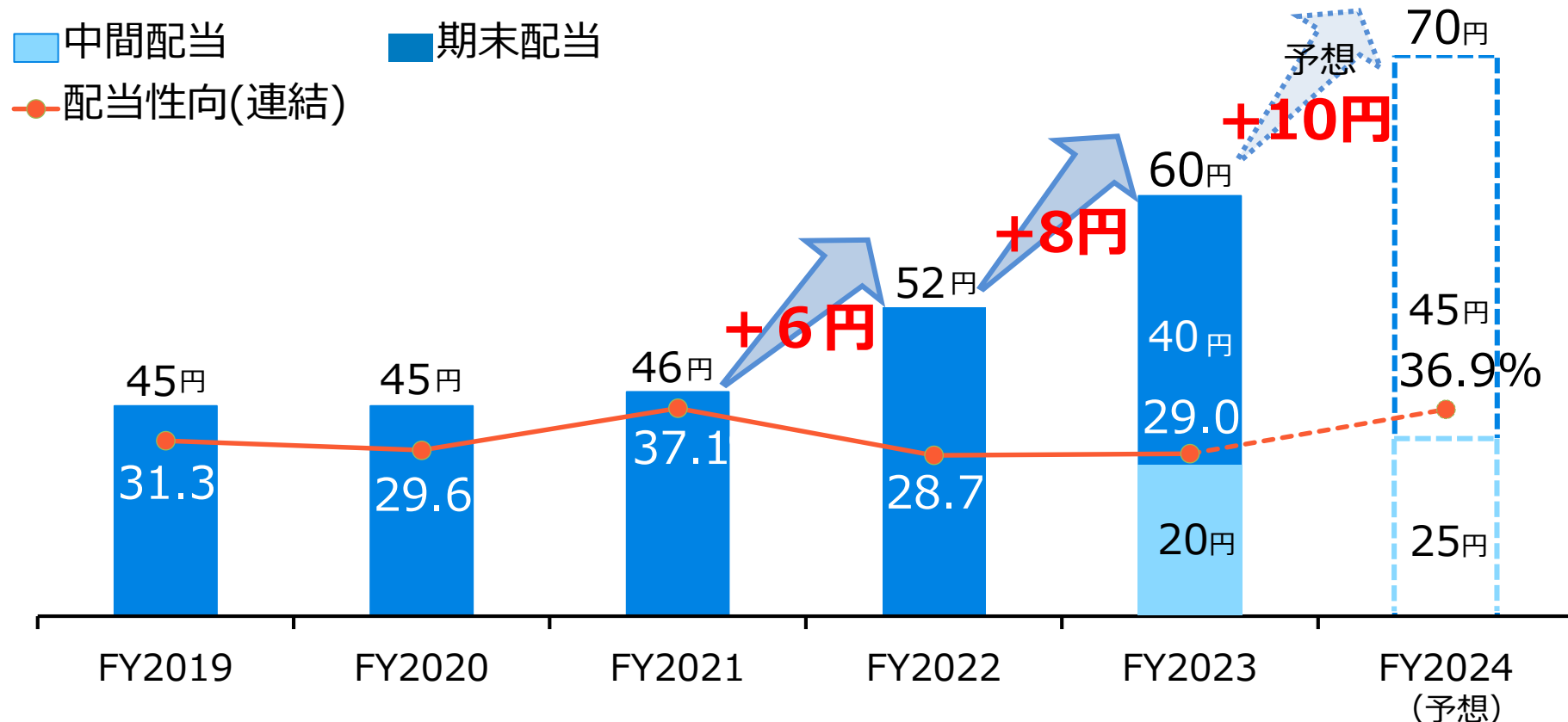
	Phase1：成長の基礎固め			Phase2：成長の加速		
	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (予想)	2025年度 (計画)	2026年度 (計画)
配当性向(%)	37.1	28.7	29.0	36.9		<b>40</b>



# 株主還元（配当金）

（東証プライム：6850）

- FY2023中間配当 : 20円
  - FY2023期末配当 : 40円
- 60円  
(FY2022比 **8円増配**)



※自社株式取得：2016年12月～2017年5月に120百万円（100,000株）実施  
自己株式消却：2017年7月に300,000株実施

## 【制度の概要】

- 毎年3月末現在の**3単元（300株）以上保有の株主様が対象**となります。
- ポイントは**次年度へ繰り越し可能**（1回のみ）。
- 株主様の保有株式数に応じてポイントが贈呈され（次ページ参照）、ウェブサイト「**チノー・プレミアム優待倶楽部**（※）」において食品、電化製品等5,000種類以上の商品から交換できます。

※URL：<https://chino.premium-yutaiclub.jp/>



松阪牛シャトー  
ブリアン

伊勢海老  
割烹料理

新潟米食べ比べ  
セット

クッキー&  
チョコレート

鹿児島黒牛・  
米沢牛焼肉御膳

日本酒&梅酒

## <株主優待ポイント表 (1ポイント≒1円) >

保有株式数	付与されるポイント	贈呈時期
300株～399株	4,000	毎年5月
400株～499株	8,000	
500株～599株	15,000	
600株～699株	20,000	
700株～999株	25,000	
1,000株～1,999株	30,000	
2,000株～4,999株	35,000	
5,000株以上	40,000	

# 株価推移（過去10年間）

（東証プライム：6850）

■ 株価：2,596円

（2024年6月28日終値）

■ 単元株式数：100株

■ 売買最低代金：259,600円

時価総額  
(2024年6月28日終値)

240億円

PER 予想※1

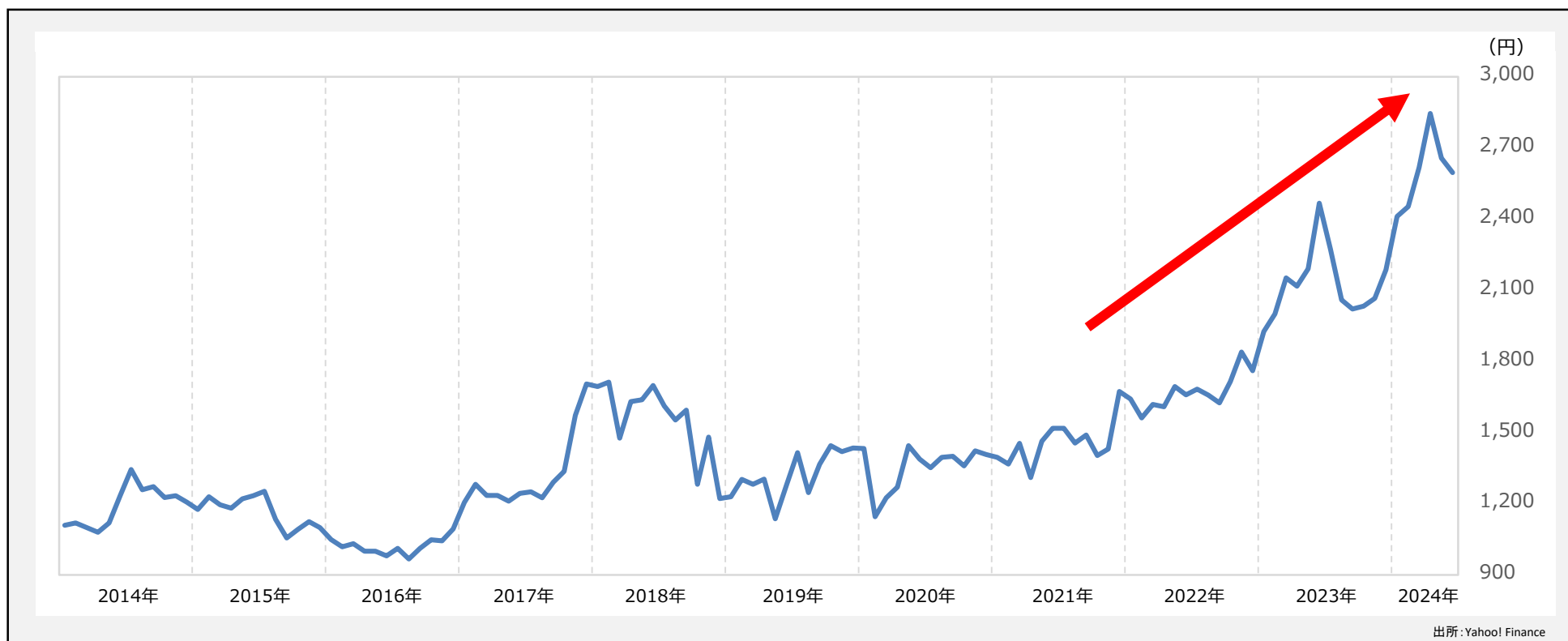
13.69倍

PBR 実績※2

1.09 倍

※1 2024年6月28日の終値及び通期の業績予想における1株当たり当期純利益を用いて算出しております。

※2 2024年6月28日の終値及び1株当たりの純資産を用いて算出しております。



# 当社ホームページのご案内

CHINO

ダウンロード 展示会情報 採用情報 English

製品/サービス ソリューション サポート技術情報 お知らせ 企業情報 IR情報 サステナビリティ お問い合わせ

## Measure with Passion

温度を極める

テクノロジーグループは温度を中心とした計測・制御・監視を通して、社会の発展に貢献しています

### NEWS

お知らせ

一覧を見る

2022.06.20	IR情報	招集通知記載事項の一部訂正についてを掲載致しました。
2022.06.14	展示会情報	第24回インターフェックスジャパンに出展致します。
2022.06.14	IR情報	決算説明会（2022年3月期）の資料を掲載致しました。
2022.06.13	サポート技術情報	ISO18436-7機械状態監視診断新技術者（サーモグラフィ）の赤外線診断新技術者訓練コース（カテゴリー1）を開講致します。
2022.06.10	IR情報	第86回定時株主総会招集ご通知を掲載致しました。
2022.06.10	IR情報	第86回定時株主総会招集ご通知に際しての法令および定款に基づくインターネット開示事項を掲載致しました。
2022.06.10	IR情報	招集通知記載事項（書面）の一部訂正についてを掲載致しました。
2022.06.09	IR情報	定款の一部変更に関するお知らせを掲載致しました。

当社ではホームページにて企業情報を掲載しています。

当社の事業紹介、サステナビリティに対する取組みのほか、トピックスやIR情報も随時開示しております。  
どうぞお気軽にアクセスしてみてください。

URL: <https://www.chino.co.jp/>



# » Appendix

## CHINO

- |                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| 1) 財務データ                        | P54 |
| 2) 資本コストや株価を意識した<br>経営の実現に向けた対応 | P56 |
| 3) 人的資本経営の実現に向けた対応              | P58 |
| 4) サステナビリティ関連                   | P61 |
| 5) 新製品、その他ソリューション事例等            | P66 |

# 連結貸借対照表

- 資産 現預金が減少した一方、棚卸資産・有形固定資産等が増加し、前期末比で +240百万円
- 負債 仕入債務の減少等により流動負債は▲1,172百万円、長期借入金の減少等により固定負債は▲204百万円となり、負債合計では前期末比▲1,376百万円
- 純資産 当期純利益の計上等により、前期末比+1,617百万円

(百万円)

科目	2023年3月末	2024年3月末	増減額
流動資産	26,322	26,050	▲ 272
現預金	9,176	7,305	▲ 1,871
売上債権	8,281	8,738	457
棚卸資産	8,576	9,707	1,130
その他	287	298	10
固定資産	9,967	10,480	513
有形固定資産	5,578	6,159	580
無形固定資産	436	297	▲ 139
投資その他の資産	3,952	4,023	71
資産合計	36,289	36,530	240

科目	2023年3月末	2024年3月末	増減額
流動負債	10,489	9,317	▲ 1,172
仕入債務	5,317	4,618	▲ 699
短期借入金	1,724	1,581	▲ 143
その他	3,446	3,116	▲ 330
固定負債	4,225	4,021	▲ 204
長期借入金	1,660	1,443	▲ 216
その他	2,565	2,578	12
純資産	21,574	23,191	1,617
株主資本	18,471	19,654	1,182
その他の包括利益累計額	312	606	294
非支配株主持分	2,790	2,931	140
負債純資産合計	36,289	36,530	240

※自己資本比率は、2023年3月末 51.8%から2024年3月末 55.5%へと3.7ポイント上昇

# キャッシュ・フロー

- 営業CF：棚卸資産（材料等）が増加する中で、+1.0億円（前期比▲15.2億円）
  - 投資CF：固定資産取得▲14.5億円、定期預金+10.3億円、投資有価証券売却+6.4億円等により+0.8億円（前期比+6.5億円）
- 以上の結果、フリーCFは+1.8億円（前期比▲8.7億円）
- 財務CF：配当金▲6.1億円、借入金▲3.6億円等により▲11.0億円（前期比▲17.6億円）

(百万円)

区 分	FY2022	FY2023	増減額
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,619	101	▲1,518
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	▲564	81	646
フリー・キャッシュ・フロー (I+II)	1,054	183	▲871
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	655	▲1,104	▲1,760
IV. 現金・現金同等物の換算差額	71	60	▲10
現金・現金同等物増減	1,781	▲860	▲2,642



# 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応①

## 取組み方針

### 1) 成長戦略

- ・中期経営計画（最終年度：2026年度）の目標（売上高：300 億円、営業利益：27 億円等）達成への取組み

### 2) 財務・資本戦略

- ・株主還元の充実
  - 連結配当性向（2026年度）の目標を40%とし、持続的な利益成長を通じた増配を実現する
  - 中間配当の再開（当期中間配当より実施済）
- ・政策保有株式の縮減（2021年度以降、順次実行）

### 3) I R 活動の充実

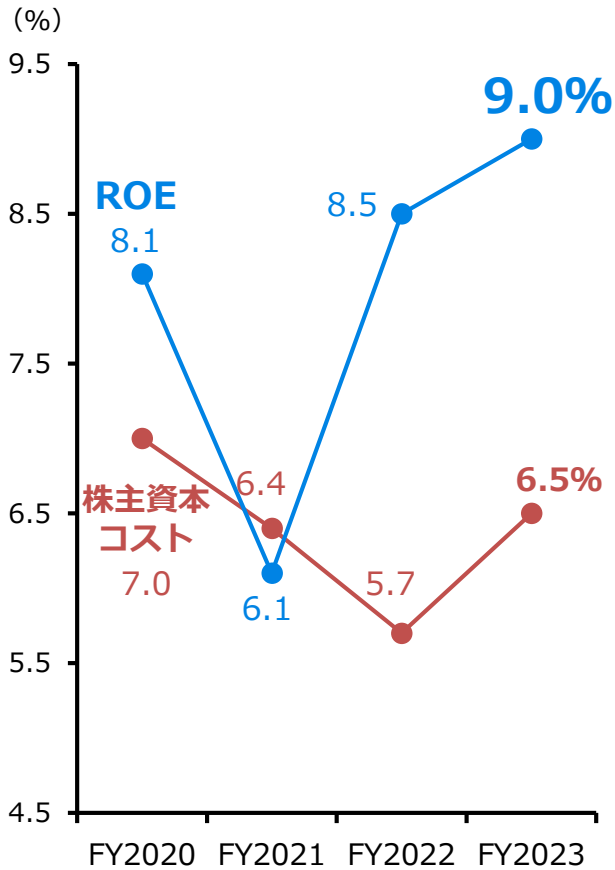
- ・「機関投資家向け説明会」「個人投資家向け説明会」の継続
- ・個別 I R ミーティングの機会拡充
- ・IR情報/非財務情報（サステナビリティ情報等）発信の充実

# 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応②

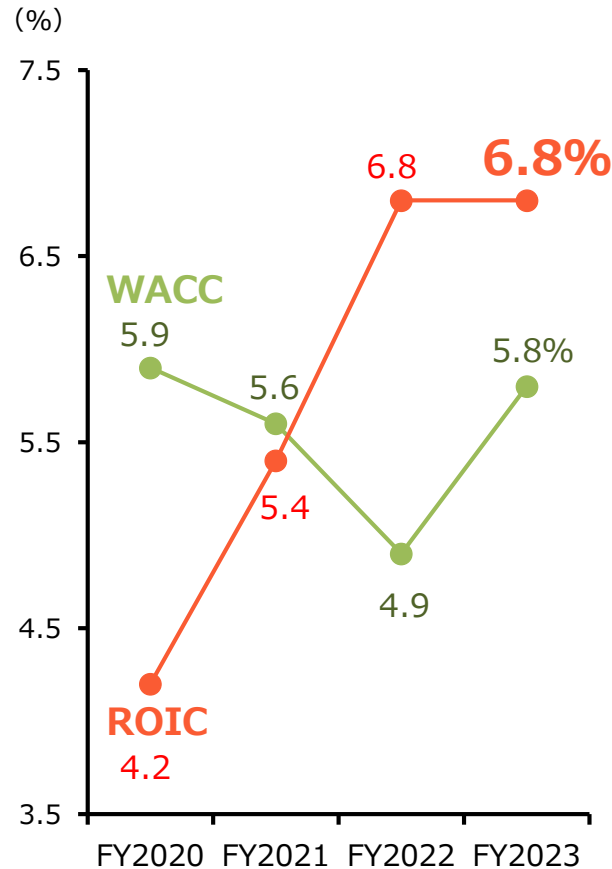
## 2023年度の実績

### <資本収益性・資本コスト>

#### ■ ROE・株主資本コスト

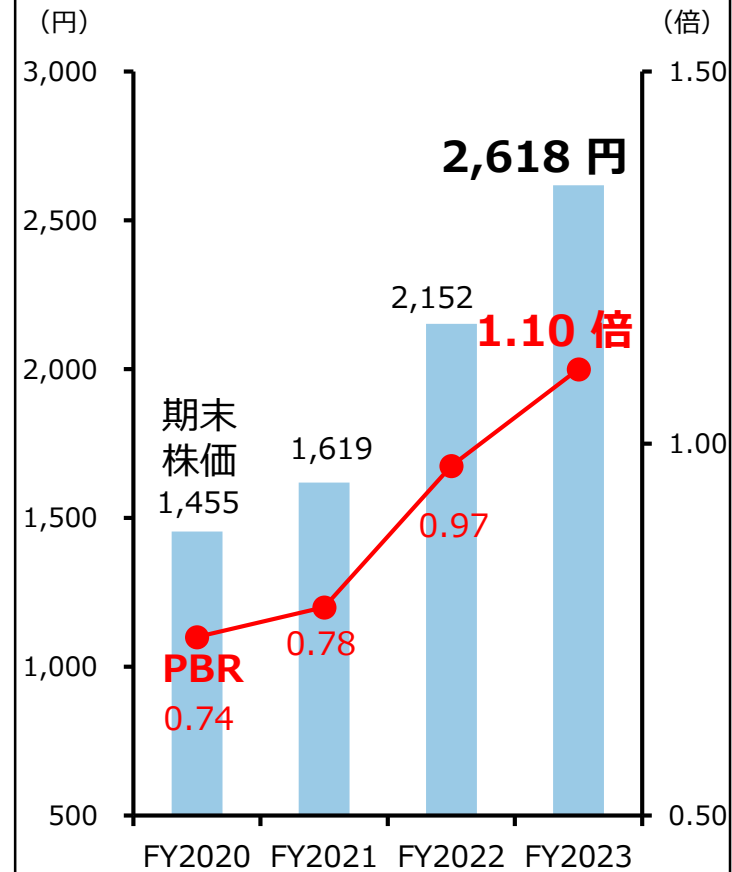


#### ■ ROIC・WACC



### <市場評価>

#### ■ 株価・PBR



# 人的資本経営の実現に向けた対応（方針）

## ◆基本的な考え方

中期経営計画（2021年度～2026年度）の達成 及び 持続的成長の実現に向けて、人財の育成と強靱な組織づくりを推進。

「人財育成方針」及び「職場環境整備方針」に沿って 下記3項目に注力。

- ・ 経営ビジョンを実践するプロフェッショナル人財の確保と育成
- ・ 組織の活力向上を推進する働きがいのある職場環境の整備
- ・ 公平かつ生産性の向上につながる人事関連諸制度の再構築

# 人的資本経営の実現に向けた対応（2023年度）

## 人財育成方針

当社グループは、「人」こそ最大の財産であり「人財」の意欲・能力の向上と役割の発揮が当社グループの持続的成長を支える源と考え、「一人ひとりの個性を尊重し強みを活かすこと」「自己成長に向けて努力・研鑽する社員を支援すること」「成長に正しく報いること」を基本方針として人財育成に取り組んでいきます。

## <2023年度の取組み>

項目	取組み	実績
キャリア採用	高度専門人財の採用	中途採用管理職比率：26.6%
幹部候補者育成	<ul style="list-style-type: none"><li>次世代役員候補人財の育成</li><li>中核幹部候補人財の育成</li><li>次世代中核幹部候補人財の育成</li></ul>	受講者計：20名 受講時間/人：75時間
学習基盤の整備	e-Learningシステムによる自己啓発の支援	利用者計：234名（全社員の34%）
DX推進	DXアイデアコンテスト	応募総数：56件

# 人的資本経営の実現に向けた対応（2023年度）

## 職場環境整備方針

当社グループは、多様な個々人が生き活きと安心して最大限に力を発揮できることが新たな価値創造の原動力になると考え、職場の安全と一人ひとりの心身の健康を守るとともに、多様な価値観とライフスタイルを尊重し、業務特性や状況に応じた柔軟な働き方の選択等を通じて生産性の向上を実現する環境整備を推進していきます。

## <2023年度の取組み>

項目	実績
エンゲージメントサーベイ	<ul style="list-style-type: none"><li>・組織改善サーベイを2回実施（回答率：99%）</li><li>・各部門で組織改善の取組みを実施</li></ul>
キャリア自律支援	研修対象層：新入社員、入社1年目、入社3年目、30代前半、40代前半、50代半ば
健康経営	2022年度に従業員の健康づくりに積極的に取り組む企業として、健康企業宣言東京推進協議会より「金」の認定を取得。2023年度に「金」の認定を更新
産業保健師の活動	<ul style="list-style-type: none"><li>・健康診断結果の分析</li><li>・個別面談/健康促進 (希望者、前年度検診未受診者、長時間勤務者、マネージャー等)</li></ul>

# 水素社会実現に向けた政策「水素基本戦略」

水素基本戦略（アンモニア等を含む）の改定（2023年6月6日）

## <主なポイント>

### ①水素社会の実現を加速化

「2040年の**水素利用量**の目標」を**1,200万トン程度**とする。

### ②水素生産基盤の確立

「2030年の国内外における日本企業関連の水電解装置の導入目標」を**世界の水電解装置（水素製造装置）の導入見通しの約1割**とする。

### ③水素等製造サプライチェーンの構築

**官民合わせて15年間で15兆円の投資計画**とする。

### ④クリーン水素への移行

**「クリーン水素」**の世界基準を日本がリードして策定する。

（出所：経済産業省、資源エネルギー庁 作成資料）

# 水素関連の最近の動き

## ■ 水素社会推進法の成立（2024年5月17日）

- 国が前面に立って、**低炭素水素等の供給・利用・貯蔵を早期に促進**する。
- 基本方針の策定、計画認定制度の創設、計画認定を受けた事業者に対する支援措置や規制の特例措置を講じる。
- 低炭素水素等の供給拡大に向けて、水素等の供給を行う事業者が取り組むべき判断基準の策定等の措置を講じる。

## ■ 日本とEUが「水素の国際規格」の策定に着手

- 日本とEUは次世代燃料として有力視される水素の普及に向け、**製造装置や輸送技術などの国際規格の策定に着手**する。
- **純度や安全性など水素活用のルールづくり**を主導し日欧の競争力につなげる。
- 水素活用に向けた2040年ごろまでの共同工程表をつくる方針で合意。

（出所：日本経済新聞）

# 当社の取組み（生物多様性の保全活動）

2011年に環境問題に取り組むシンボルとして、また地域社会とのコミュニケーション拠点として群馬県内の里山を再現した「チノービオトープフォレスト」を整備致しました。  
希少種の生息域外保全をしたり、環境学習・体験学習を開催したりして、地域の環境活動に貢献しております。

## チノービオトープフォレストの概要

面積：約10,000m<sup>2</sup>

所在地：群馬県藤岡市  
（チノー藤岡事業所内）

竣工：2011年3月



藤岡市の天然記念物 ヤリタナゴ  
（ビオトープ内にて保護中）



# ビオトープが「生物多様性保全活動賞」受賞

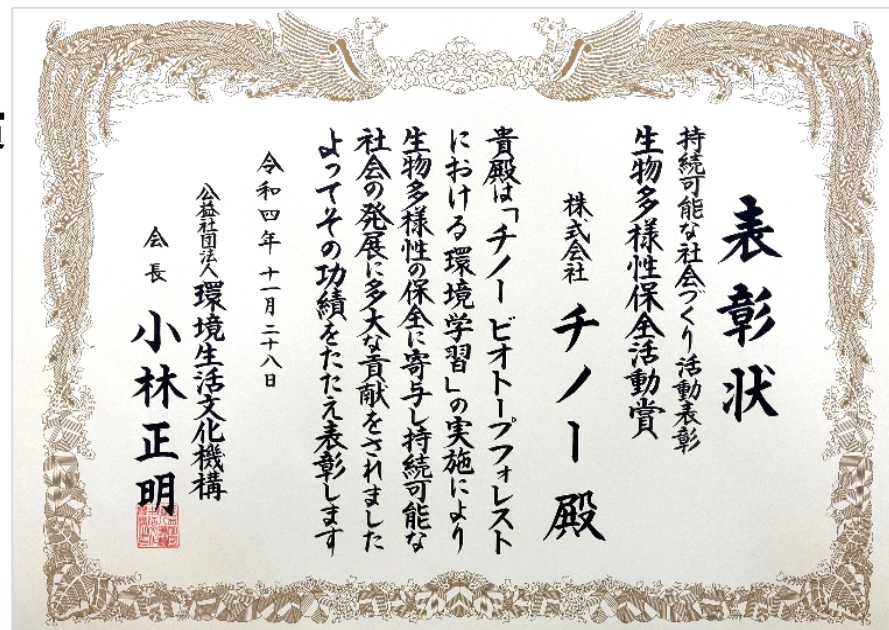
「チノービオトープフォレスト」での環境学習等の活動が評価され、2022年11月に公益社団法人環境生活文化機構より「**持続可能な社会づくり活動表彰（生物多様性保全活動賞）**」を受賞しました。

## <取組み>

- ・ 地元小学校と連携した環境学習への積極的な取組み
- ・ 四季を通じた環境学習や当社社員が地元の小学校へ出向いて開催した出前授業などの活動

## <主な受賞履歴>

2013年11月	緑化優良工場等日本緑化センター会長賞
2014年 8月	関東水と緑のネットワーク拠点百選
2016年10月	緑化優良工場等関東経済産業局長賞
2018年 9月	環境教育等における体験の機会の場
2019年10月	全国みどりの工場大賞経済産業大臣賞
2022年11月	生物多様性保全活動賞



# 気候変動リスクへの取組み

## ■ 目標及び当社の対応方針

	～2022年度	～2026年度	～2030年度	～2040年度
目標	◆指標：GHG(温室効果ガス)排出量 (Scope1,2) ◆対象範囲：チノ一単体 ◆基準年度：2020年度 (2020年度排出実績：[ Scope1：261t-CO2 ] [ Scope2：2,449t-CO2 ])			
		Scope1,2のGHG排出量実質0へ (一部カーボンオフセット利用)		“カーボンニュートラル” Scope1,2 のGHG排出量完全0へ
	Scope1,2排出量 70%削減 (2020年度比)	Scope1,2排出量 90%削減 (2020年度比)	Scope1,2排出量 93%削減 (2020年度比)	Scope1,2排出量 100%削減 (2020年度比)
具体的取組み	◆事業活動における購入電力を、再生可能エネルギーに転換			
	電力調達を順次 再生可能エネルギー化 2021年10月 山形事業所 2021年11月 本社 2021年11月 久喜事業所 2022年 7月 藤岡事業所	▪ 当社の電力調達を100% 再生可能エネルギー化	▪ 国内グループ会社の電力調達を 100%再生可能エネルギー化	▪ Scope1,2すべてを再生可能 エネルギーより調達
	◆Scope3 (サプライチェーン排出量) の集計と目標設定および、排出削減			
	◆省エネの推進、生産設備のエネルギー効率向上			
	◆当社 事業所に太陽光発電所の設置 (山形事業所…2013年 システム容量732kWh、藤岡事業所…2014年 システム容量40kWh)			

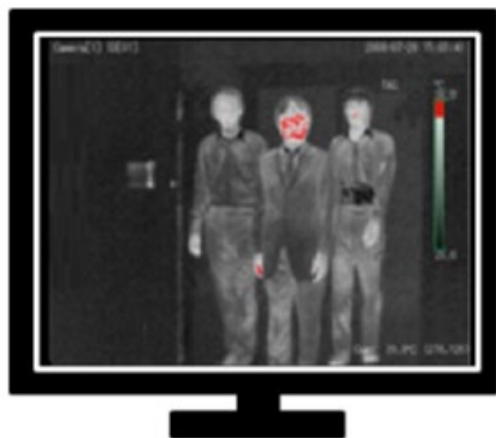
※対象範囲の詳細：(日本) 本社、支店・営業所、国内主要生産拠点(藤岡事業所、久喜事業所、山形事業所)

## ■ GHG(温室効果ガス)排出量 (Scope1,2) (t-CO2)

	2020年度 (基準年度)	2021年度	2022年度	2023年度	2026年度 (目標値)
Scope1 (主にガソリン、LPG等の燃料使用)	261	266	265	<b>260</b>	Scope1,2 271
Scope2 (主に購入した電力)	2,449	1,621	196	<b>31</b>	
Scope1,2	2,710	1,887	461	<b>290</b>	
基準年度よりの削減率	-	30.4%	83.0% (2022年度目標達成済)	<b>89.3%</b>	90.0%

# コロナ関連（発熱者の早期発見）

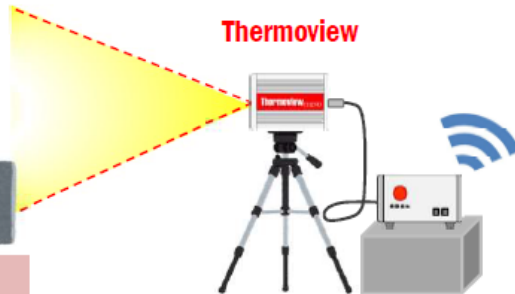
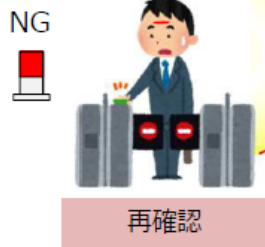
当社の熱画像（サーモグラフィ）カメラが**発熱者の早期発見**に役立っています。



Thermoview



セキュリティゲートとの連動



警備室



# 新素材関連（EV:電気自動車向け）

電気自動車に搭載されるリチウムイオン電池の製造工程を当社の赤外線技術で支援しています。

## ◆産業技術総合研究所との共同研究成果

### 塗布直後の 固形分濃度を測定

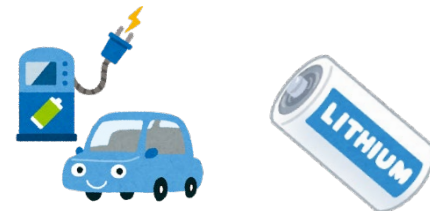
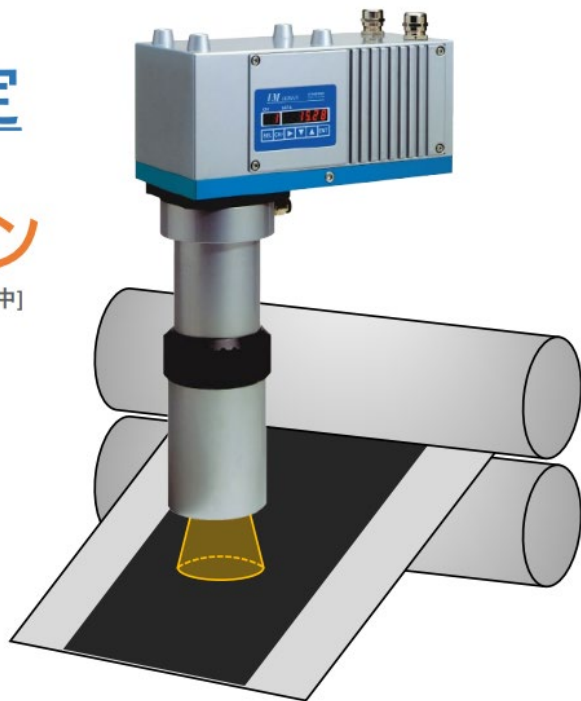
### 波長最適化エンジン により...

[特許出願中]

これまでの

- ・黒色体の光減衰
- ・膜厚による変動
- ・含有成分による変動

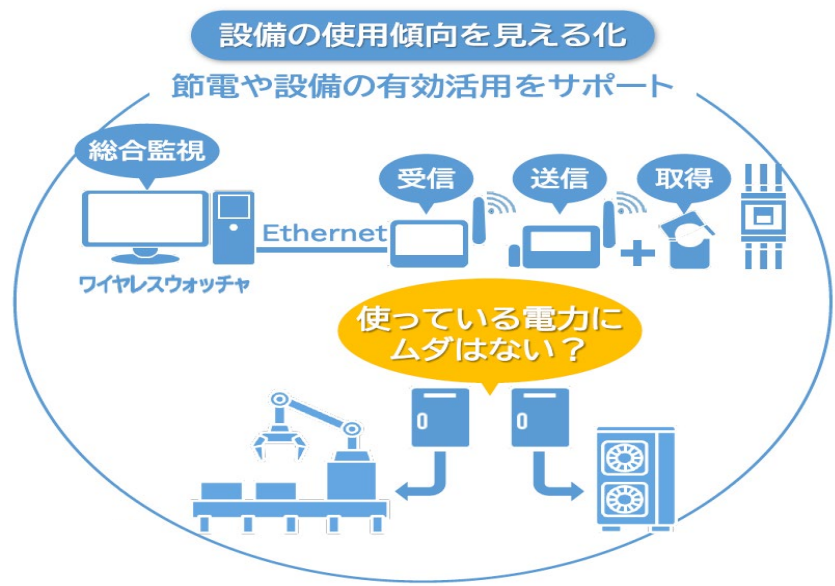
の問題を解決



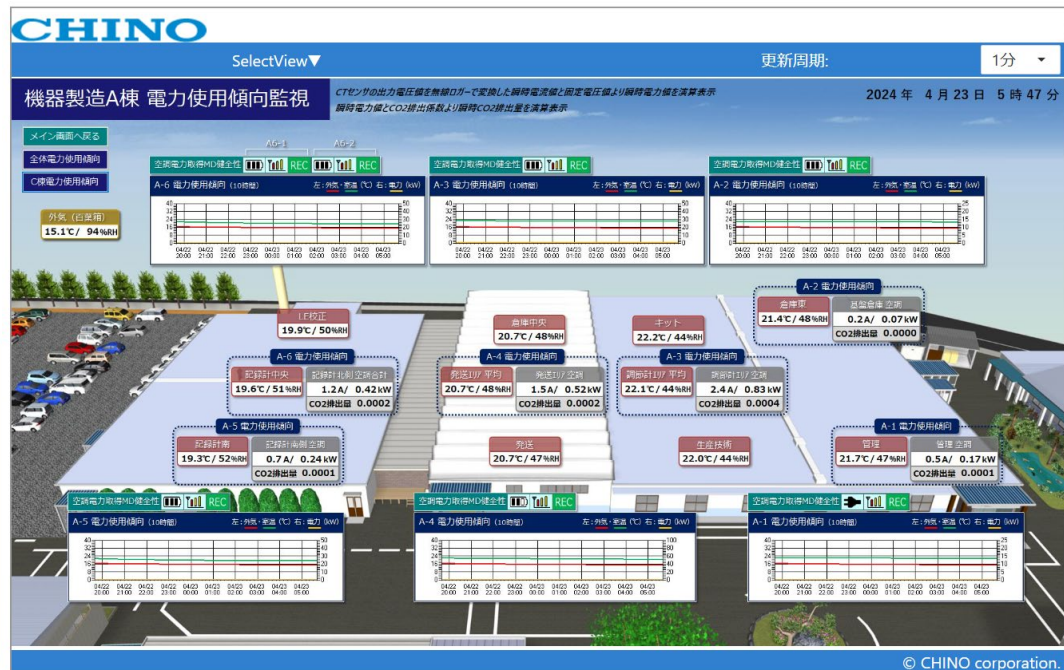
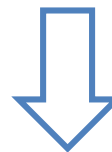
- ◆リチウムイオン電池の製造工程には、集電体に「スラリー（電極合成塗料）」を塗布する工程があり、「スラリー」が正常に塗布されていないと不良品となる。「スラリー」塗布直後の「固形分濃度」を非接触（赤外線）で計測し、「スラリー」の塗布が異常なものを検知する方法を開発。

# 脱炭素関連（工場設備の電力監視）

当社の無線技術とクランプセンサで電力の可視化を行い、**装置を停止することなく節電や省エネ対策が図れます。**

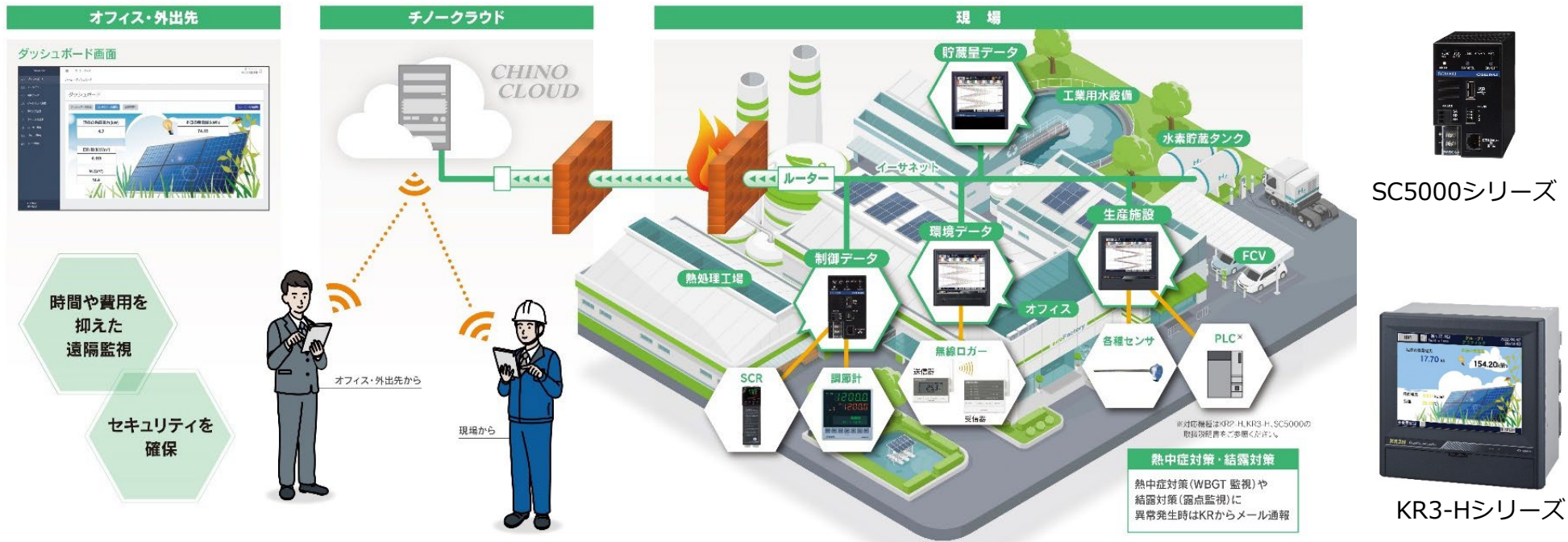


藤岡事業所の電力使用状況等が当社のホームページ（下記QRコード）でご覧頂けます。



# IoT関連（当社専用クラウドによる遠隔監視）

当社専用クラウド（チノークラウド）対応の記録計により、セキュリティ上の制約から遠隔監視が難しかった場所（自宅や外出先等）からのデータ閲覧が可能になり、現場のDX化が進みます。



本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、当社およびグループ各社が現時点で入手可能な情報に基づいており、この中には潜在的なリスクや不確定要素も含まれています。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向等により、本資料における業績見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

---

**CHINO**